

令和7年度 長野市消防委員会

日 時 令和7年8月6日（水） 午後3時30分から午後5時00分まで
場 所 中央消防署 4階会議室

1 開 会（午後3時30分）

出席委員 18名（欠席1名）

2 委員の委嘱

3 自己紹介

4 あいさつ

《村松長野市消防局長》

あらためまして、消防委員会の委員の皆さまには、平素から長野市の消防行政に対しまして、格別なるご理解、ご協力をいただいておりますこと、心から御礼を申し上げます。

関東甲信越地方が梅雨明けし、ここ数日は、35度を超える猛暑日が毎日のようにニュースになってございまして、一部では、40度を超えるという都市も連日報道されています。降雨も例年に比べ少なく、水不足により水道水の供給が懸念されるなど、異常気象を象徴するような気候になってございます。

また6月21日から連続して、鹿児島県のトカラ列島近海で発生した群発地震や、7月30日のカムチャッカ半島沖で発生した、マグニチュード8.7の地震で津波災害が続くなど、南海トラフ巨大地震等を危惧されるものでありまして、日本は地震列島であることを痛感しているところでございます。

消防局管内に目を向けますと、幸いにも、最近では大きな地震ですとか、大雨の災害は発生してございませんが、40年前の昭和60年7月26日、地附山災害で老人ホーム松寿荘が全壊し、26名の尊い命が失われ、自然災害の怖さを経験しているところでございます。

近年の気象変動による自然災害の激甚化、社会情勢の変化に伴う火災原因の多様化など、消防取り巻く環境は益々複雑化しており、行政のみで対応することが困難な状況でございます。消防局といたしましては、被害を最小限にとどめるため、消防団、自主防災会や地域の各種団体などと連携強化することによりまして、災害に強いまちづくりに取り組んでいる状況でございます。

本日の消防委員会では、令和7年度長野市消防委員会といたしまして、消防の現況や主要施策、また、各分野における取り組み状況などを説明させていただきますので、委員の皆様方におかれましては、それぞれ専門的な知識、経験をもとに、忌憚のないご意見を頂戴し、今後の消防行政に生かして参りたいと考えてございますので、よろしくお願いいたします。

いずれにいたしましても、今後、地域住民の安心、安全の負託にこたえ、信頼される消防であり続けるためにも、日々の精進を積み重ねて参りますので、消防委員の皆様方におかれましては、今後とも、より一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。私からの挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

《片桐長野市消防団長》

委員の皆様には暑さ厳しい中、ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

また、日頃は消防団活動に、ご支援、ご理解、ご協力をいただきまして、改めてお礼申し上げます。

さて消防活動につきましては、令和7年度長野市消防団運営方針を定めて活動しておりますので、その概要について説明させていただきます。

基本方針1は、「消火力の維持・向上」です。ポンプ操法訓練を中心とした消火技術の向上、資機材等の管理・活用を目指しておりまして、6月22日に長野市ポンプ操法・ラッパ吹奏大会を開催し、小型ポンプ操法の部11分団、ポンプ車操法の部1分団、ラッパ吹奏の部6チームが出場しました。7月6日の長野協会大会へは、小型ポンプ操法4分団、ポンプ車1分団、ラッパ吹奏の選抜チームが駒を進めました。さらに、7月13日に開催された県大会において、ラッパ吹奏の選抜チームが4連覇の快挙を達成しました。

基本方針2は、「地域に根付く消防団」です。地域での訓練や行事への積極的な参加、自主防災と連携した地域防災力の向上に努めています。また、消防署と共同で災害対応訓練を行い組織力の強化にも努めています。

また、新たな展開として、火災現場で活動する団員の安全管理をしっかりと行うとともに必要な資機材を整備していきます。一昨年度から2年計画で進めていた夜間作業用大型照明器具も12ブロック全てに配置が完了しました。さらに、枯草、林野火災の対応強化のため背負い式消火水囊を昨年度より3年計画で整備を進めて、運用訓練を行い現場で活用していきます。

令和6年度の活動実績ですが、災害出動・警戒・広報等1,501件、延べ9,876名が活動しました。今年度も消防局と連携し、火災予防に努めていきたいと考えております。

結びに、本日ご出席いただきました委員の皆様方のご活躍、ご健勝をご祈念申し挨拶とさせていただきます。

5 自己紹介

6 会長選任

7 会長あいさつ

《石坂会長》

皆様、ただいま、会長を仰せつかりました石坂でございます。副会長はじめ、皆様方のお力添えをいただきながら、2年間どうぞよろしく願いいたします。今年度につきましては、委員の改選期ということで、私を含めまして10名の方が新たな委員として選任をされております。

委員の皆様には、長野市がよりよい消防体制でいくために、それぞれの立場から、忌憚のないご意見をいただくよう、よろしく願いをいたします。

消防委員会につきましては、令和3年度に市長の諮問に基づきまして、地域防災の要として活躍されております消防団の組織機構について答申を行ったということで、これまでに、持続可能な消防団組織の構築を目的に、消防団員の処遇の改善ですとか、定員の見直し、或いは大規模災害団員の導入等、精力的に取り組んでいただいているとお聞きをしております。

今年度の委員会につきましては、最初に消防局の運営方針を説明いただきまして、その後、

火災や救急の現状について、次に、須坂市との共同運用が始まります、高機能消防指令情報システムについて、また、最後に新たな火災予防運動についてということで、現況をご説明いただくことになっておりますので、消防行政への知識と理解をより深めていただければと思います。

さて、毎年のように各地で大規模な自然災害が発生しております、長野市でも、令和元年台風19号災害、これは記憶に新しいところでございます。一朝有事の際には、消防局並びに消防団の皆様方には、私ども市民の安心と安全のために、昼夜問わず、災害に対応していただいておりますことに、心から感謝を申し上げたいと思います。

最後になりますけれども、本委員会が実りあるものになりますよう、ご協力をお願いいたしまして、簡単でございますがご挨拶とさせていただきます。どうかよろしく願いいたします。

8 議 事

(1) 消防の現況について

- ア 令和7年度 長野市消防局運営方針について
- イ 令和7年長野市消防局管内火災概要について
- ウ 救急車の出動状況と適時・適切な利用について
- エ 高機能消防指令情報システムの更新と須坂市消防本部との指令業務の共同運用
- オ 住宅防火とくらしの安全を進める運動について

(2) 消防団の現況について

(3) その他

《A委員》

「くらしの安全を進める運動」について説明いただきましたが、その観点から考えたときに、高齢者の方の熱中症、ヒートショックはかなり高い割合で危険だと思います。熱中症気をつけましょうとか、エアコン使いましょうとか、高齢者に対応する、注意を呼びかける広報について、ある程度はイニシアチブをとって、積極的に啓発活動をしていくことが大切ではないか、と思います

それから火災の関係で、今、非常に問題になっているのがモバイルバッテリー火災です。

これについて、山手線の中で発火したとテレビのニュースで出ていますけど、モバイルバッテリーを使っている場面が多いわけで、扇風機を落とすだけで爆発しますし、長野市としては、どういうふうに応えていくのか。これについても消防関係の方で、県の方との連絡をとりながら、啓発活動していく必要があると思います。

それから、防災関係ですけども、長野市の防災ナビというアプリがありますが、これ非常によくできていて、うまく構成されている。大雨が降ったときも降水がどのぐらいなのか、具体的なものはやっぱり防災ナビで見ると、非常に具体的に出ている。消防の方でも、市民に対する啓発、それから住民自治協議会との連絡も取って、啓発活動していくように、声をかけてもらいたいと思います。

最後ですけども、消防団関係ですが、人材確保が問題です。担い手がいないので、私も、みずから消防団に入りますか？と聞いたら、年齢制限で入れないと言われたんですけども、

やっぱりある程度は工夫していかなければ、どうすれば入るのか、いろんなところを模索していく必要があるのではないかな、と思います。それから、出動報酬関係なんですけれども、もし違ったら教えてください。火災とそれから防災労務の関係で合わせて、1回出ると8,000円でよろしいでしょうか。ある消防団の方と話して、命懸けてやっている仕事で、仕事料8,000円で、もうちょっと何とか上げてもらう必要があるのではないかと話をしたことがあるんですけれども、担い手は少ない、報酬は安い、命をかけて働く。ここの部分を改善していく必要があるかな、と思います。

防災無線の関係ですけれども、全部デジタル化になるのでしょうか。私がまだ区長やっていた時には、一部は篠ノ井がデジタル化になっているが、まだほとんどなっていません、という話聞きましたが、進まないから話を聞いたんですけれども。

《警防課》

防災行政無線につきましては、主管課は危機管理防災課になりますが、令和2年から4年度で防災行政無線のデジタル化整備工事を実施しておりまして、長野市内全域でデジタル無線の工事が終了している状況になります。

《A委員》

ただ問題は、デジタル化で感度が良くても、その各地区に設置されている場所云々なんです。私ところにもよく全然聞こえてこないと苦情の電話ありましたが、風が強いとみんな流されてしまう。違う地区からののが聞こえてくると。大きな課題として考えていただければ助かります。

《消防局長》

A委員さんから、「くらしの安全」のヒートショックですとか熱中症に対する重症対策について、モバイルバッテリーの啓発、防災ナビのPR、消防団員の報酬の関係、そして防災無線関係ということで、5つご提案いただいたかと思います。「くらしの安全」ですとか、防災ナビ等につきましては、広く関係部局も協議させていただいて、例えばSNSを使ったり、広報ながのを活用させてもらって、PRをさせていただければと思います。

またモバイルバッテリーにつきましては、今現在もう環境部の方で、令和7年度から廃品回収のときに合わせて、モバイルバッテリー・リチウムイオン電池を回収するモデル事業を試験的にやっております。令和8年度以降は、市内全般で回収が始まると聞いてございます。火災に関しては私どもがイニシアチブをとって、関係部局の方に提案をさせていただいて、注意喚起の方をあたらせていただきます。それから、ホームページなどにもリンクを貼ってPRする。そんなところも考えていきたいと思います。

また消防団員につきましては、令和3年に団員報酬と手当を引き上げる通知が国から出まして、出動手当を月額8,000円に増額させていただいたところでございます。手当・報酬については、分団員のみなさんに分団長等を通じて、説明するようなかたちでお願いします。

本日も提案いただいた事については、すべて周知をさせていただきます。ありがとうございます。